

持続可能なまちづくり

## 増築庁舎の最上階が防災拠点となる とのことだが具体的には？



高島創生会

代表質問

澤本 長俊 議員

答

電気や水道のライフラインを確保します。

問

産業・経済の分野において、雇用の確保は、若者定住はもとより人口減少を食い止めるためには、絶対的に進めなくてはならない課題と言える。そこで企業誘致についての現状と課題について問う。

答  
市長

庁内に企業誘致推進プロジェクトチームを設置し、新規の立地や増設を検討されている企業等の情報共有や用地情報の収集を図っています。また新たな誘致の現状では、現在も複数のプロジェクトについて、関係企業等と協議しています。

問

子育て・教育の分野において、市内唯一の産婦人科がある高島市民病院の常勤医師が3月末で離任されると聞か、4月以降の診療体制はどうなるのか。

答  
市長

滋賀医科大学産婦人科教室のご理解をいただき、4月から常勤医師一人と非常勤医師の派遣をいただけることになり、診療閉鎖は回避することができました。

問

防災分野で、新しく増築する庁舎の最上階が防災拠点という位置付けになっているが、具体的にどのような機能があるのか。

答  
市長

壊滅的な災害が発生しても、電気や水道を確保し、災害対応ができる機能を備えます。また、各支所が災害時の地区本部機能を担いますので、テレビ回線でありアルタイムに連絡ができるシステムを整備するなど、増築棟の三階部分は、防災・危機管理の拠点となります。

問

市役所位置問題において、庁舎位置条例改正をできるだけ早く提案し、持続可能なまちづくりのための事業や改革を進めていただきたいと考えるが。

答  
市長

庁舎問題は早期に解決し、議会の皆様はもちろんのこと、市民の皆様と共に、持続可能な確かなまちづくりを進めていくことが、今最も求められている政策であると考えております。

